# 生徒の活躍（全国 SSH 生徒発表会）

令和６年９月５日

８月７日、８日に開催された「令和 6 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」に本校代表として出場した３年９組 古川　仁翔 さんが、見事に全国第２位となる科学技術振興機構理事長賞を受賞しました。

現在、国の SSH 指定校は全国に 200 校余りあります。それらの学校から代表が日頃の研究成果を持ち寄り、まず一日目にポスター発表を行います。その中から代表校６校が選ばれ、２日目に６校がステージで発表を行います。200 余りのレベルの高い発表の中で、高評価を得て見事でした。

彼の研究は、「ワモンゴキブリにおける数値の視覚的認識と短期記憶」で“Ｇ”の研究です。ご安心ください、実験に使ったＧは、ある企業から提供された個体です。本当はミツバチで研究したかったそうです。彼曰く、苦しかったのは一人での孤独な研究だったこと、難しかったのは実験器具が完成するまでに時間がかかったこととのことです。後輩たちには、いろいろな参考文献、先行研究を調べたうえで研究していくことで、より深い研究となり、より満足できる成果が得られるとメッセージをくれました。この研究はここで終わりになりますが、彼の夢実現のためにこれからも研究活動は続きます。研究対象は変わりますが、研究に取り組む姿勢や方法は高校で得た経験が生きてくると思います。

お疲れ様でした。おめでとう。

文部科学省ホームページより